

伴走支援に活かす コミュニケーションとコーチング

中小・小規模事業者
を支援する方向け

研修のねらい・内容

伴走支援では、経営者に寄り添い、良好な信頼関係を築く必要があります。また、経営支援を速やかに行うためには、事業者の内部環境等について、経営者との円滑なコミュニケーションにより様々な情報を引き出し、課題解決を進めていくことが重要です。

この研修では、経営相談において相手からの信頼を得るための注意点や、必要な情報を引き出すためのポイントなど、伴走支援におけるコミュニケーションとコーチングの活用法について、学んでいただきます。

研修の特色

- ✓ 伴走支援について国の施策としての方向性や現状とポイントを学ぶ！
- ✓ 経営相談の対応に役立つコミュニケーションとコーチングについて演習を交えて学習！
- ✓ 経営者との良好な信頼関係を構築し、速やかな支援に繋げるスキルを身に付ける！

研修期間

2026年3/12(木)～13(金)
(2日間・12時間)

対象者

中小企業・小規模事業者の支援に携わる

- ▶ 商工会・商工会議所等の支援機関の方
- ▶ 金融機関職員、中小企業診断士、その他専門家等で、認定経営革新等支援機関の方

中小企業診断士の方は、中小企業診断士更新の対象となります。(理論政策1ポイント)

定員 30名

受講料 22,000円(税込)
※受講料は変更になる場合があります。

会場

中小企業大学校東京校

東京都東大和市桜が丘2-137-5

※受講申込についてのお問い合わせ

受講申込受付センター TEL03-5422-1161

※研修内容についてのお問い合わせ

東京校支援研修課 TEL042-565-1270

月日	時間	科目	内容
3/12 (木)	9:40	オリエンテーション	
	10:00 ～ 13:00	伴走支援の現状と課題を理解する	国が推進する「伴走支援」について、支援担当者が知っておくべき現状や課題などを、支援事例などを交えながら学んでいただき、その有効性や注意すべきポイントなどについて理解を深めていただきます。 ・ 伴走支援の現状と課題 ・ 国の施策概要と方向性 ・ 活用事例の紹介 ・ 伴走支援の特徴・種類等 ・ 伴走支援の留意点
	14:00 ～ 17:00	伴走支援におけるコミュニケーションとコーチングの活用方法	現場の支援担当者が、実際に事業者と経営相談を行う際の、コミュニケーションやコーチングの活かし方やその留意点などについて、講義と演習を交えて実践的に学んでいただきます。
3/13 (金)	9:40 ～ 16:40		・ 相談対応時の心構えと手順 ・ 「傾聴」と「質問」の基本と実践する際のポイント ・ 効果的な質問とは何かを考える(演習+宿題) ・ 傾聴と質問のトレーニング ・ ケースを使った傾聴と質問のトレーニング(演習)

※休憩時間（各日1時間）を含みます。また、カリキュラムは変更になる場合がございます。

講師紹介(敬称略)



株式会社ファンタビート 代表取締役
中小企業診断士
岡田 望(おかだ のぞみ)

大学卒業後、大手移動体通信会社に入社。代理店営業、財務、人事、総務を担当。2007年、中小企業診断士の資格取得後、独立。現在、小規模事業者を中心に経営支援を実施する傍ら、企業・官公庁を対象に研修事業を展開している。現在、東京校の中小企業診断士養成課程の経営総合ソリューション実習のインストラクターや、経営診断基礎(商業コース、ものづくりコース)の講師も務めている。

Web申込は右のQRコードから！
(QRコードは(株)アソシエートの登録商標です)

PCからは「東京校 支援担当者向け研修」で検索！

東京校 支援担当者向け研修

検索

